

# SMART CONSTRUCTION Fleet

## 新機能リリース予定のご連絡

アプリVer : 5.4.0  
リリース予定 : 2024年3月26日(火) 18:00~19:00

# Smart Construction Fleet 新機能をリリース予定です

※クラシック版へのリリースは行いませんので、ご注意ください。



Smart Construction  
Fleet

クラシック版



Smart Construction  
Fleet



## <<追加機能>>

- 業務区分追加、運転車両日報機能追加
- モバイルアプリでの撮影画像を映像ファイルとして出力
- 自動作業履歴作成のクールダウン設定が可能に
- リアルタイムビューアにて、速度超過した車両を明示

アプリ新機能をご利用される場合はアップデートをお願いいたします

稼働中現場においては、以下の通り 一部制限がかかるため注意してください

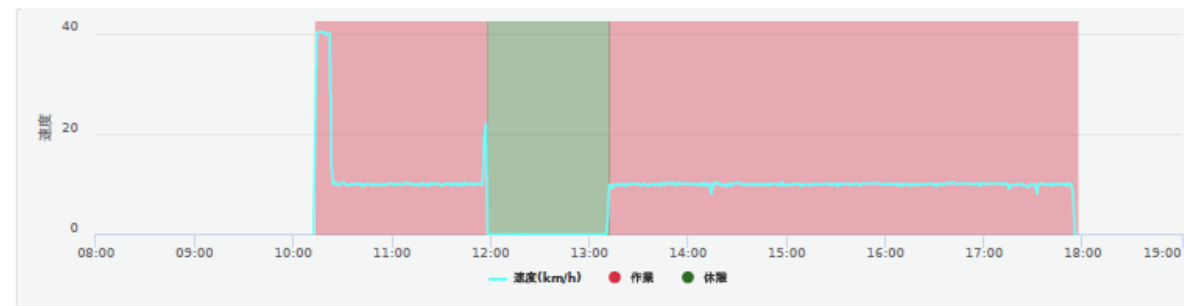
| 管理画面orモバイルアプリ | 影響                                                       |
|---------------|----------------------------------------------------------|
| 管理画面          | ログイン不可                                                   |
| 管理画面          | ログイン中であれば、次のサーバアクセスのタイミングでエラーになる                         |
| 管理画面          | ダッシュボードの定期通信であれば、その画面のままエラーが表示される                        |
| モバイルアプリ       | ログイン不可                                                   |
| モバイルアプリ       | ログイン中であれば、地図画面で他車情報が取得できずエラーが表示される                       |
| モバイルアプリ       | ログイン中であれば、タブ切り替えをするとエラーになる                               |
| モバイルアプリ       | 位置情報はサーバー停止中は端末内に蓄積。停止解除後に順次送信。                          |
| モバイルアプリ       | アラートへの進入検知は正常動作する                                        |
| モバイルアプリ       | 積込荷降地点及びゲートへの進入検知が正常に動作しない<br>⇒接近通知が発報しない（他車情報が更新されないため） |

リリース作業実施予定 日本時間 3月26日 (火) 18:00~19:00

# 追加機能・変更点

クラシック版において「除雪モード」に設定した場合のみ使用可能な機能であったが  
この度機能を一般化し、さらに管理画面にて業務区分の編集が可能に

### 【業務区分機能の説明】



作業者自身で、作業状態を記録するための機能

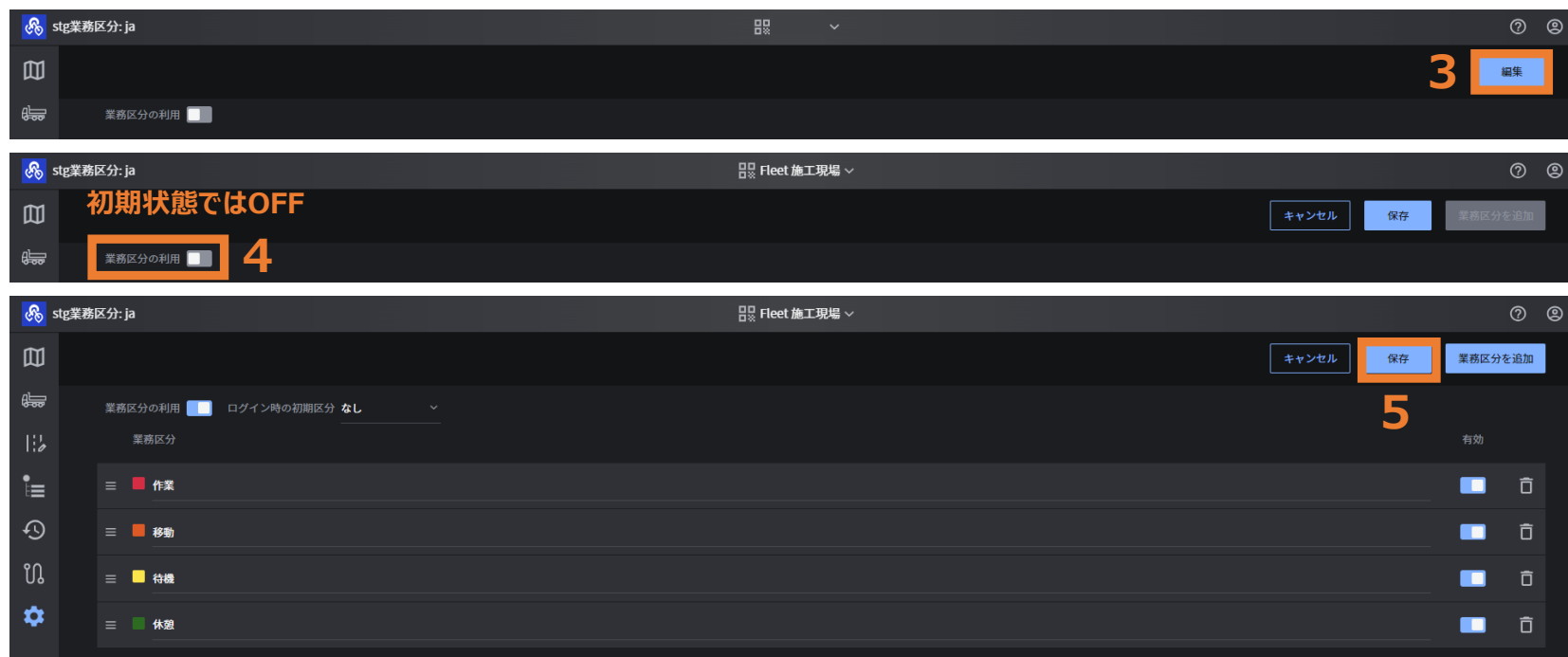
モバイルアプリにて、任意のタイミングで業務区分を切替  
→切り替えた結果は、「運転車両日報」に反映される

※車両のロールに依存せず利用可能な機能です

※予め、管理画面で機能をONにしておく必要があります

クラシック版において「除雪モード」に設定した場合のみ使用可能な機能であったがこの度機能を一般化し、さらに管理画面にて業務区分の編集が可能に

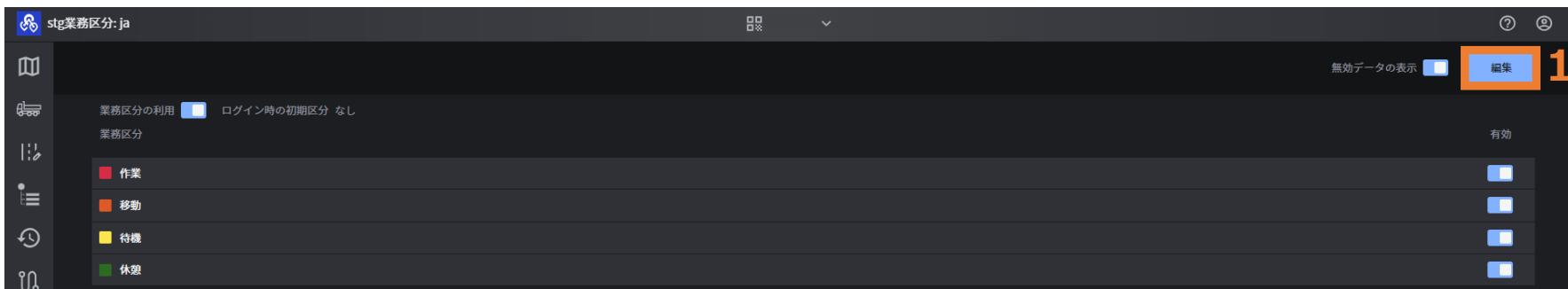
## 【業務区分機能をONにする手順】



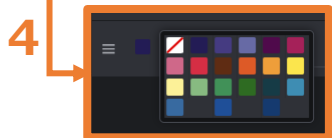
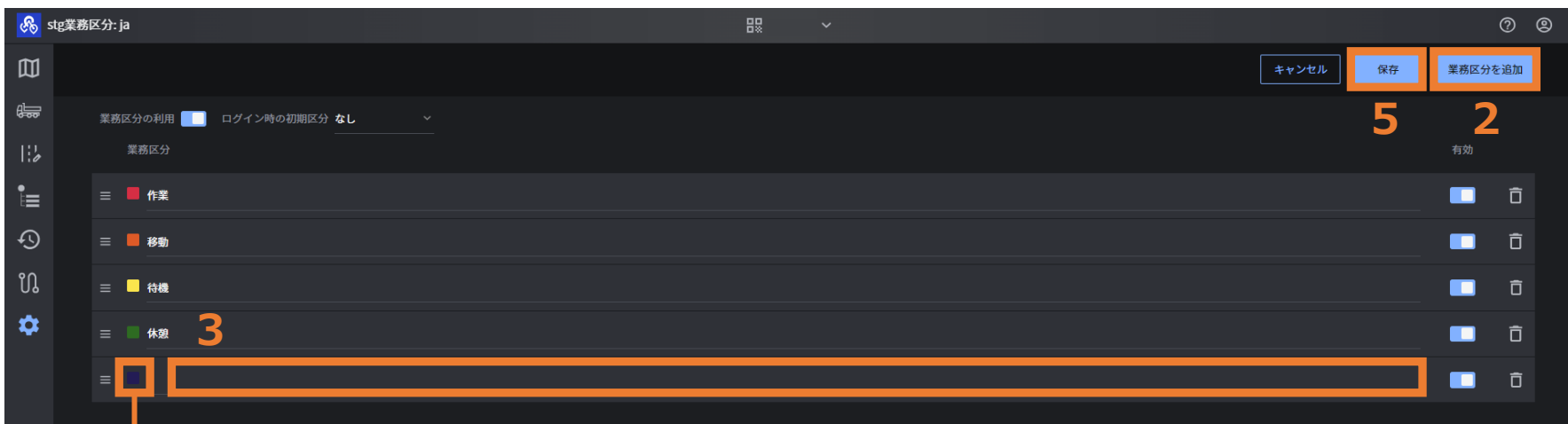
1. 「各種設定」を押す
2. 「業務区分」を押す
3. 「編集」を押す
4. 「業務区分の利用」をONにする
5. 「保存」を押す

クラシック版において「除雪モード」に設定した場合のみ使用可能な機能であったがこの度機能を一般化し、さらに管理画面にて業務区分の編集が可能に

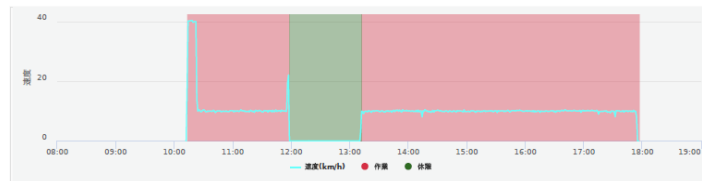
## 【業務区分の追加手順】



1. 「編集」を押す
2. 「業務区分を追加」を押す
3. 業務区分の名称を入力する
4. 必要に応じ色を変更する(※)
5. 「保存」を押す

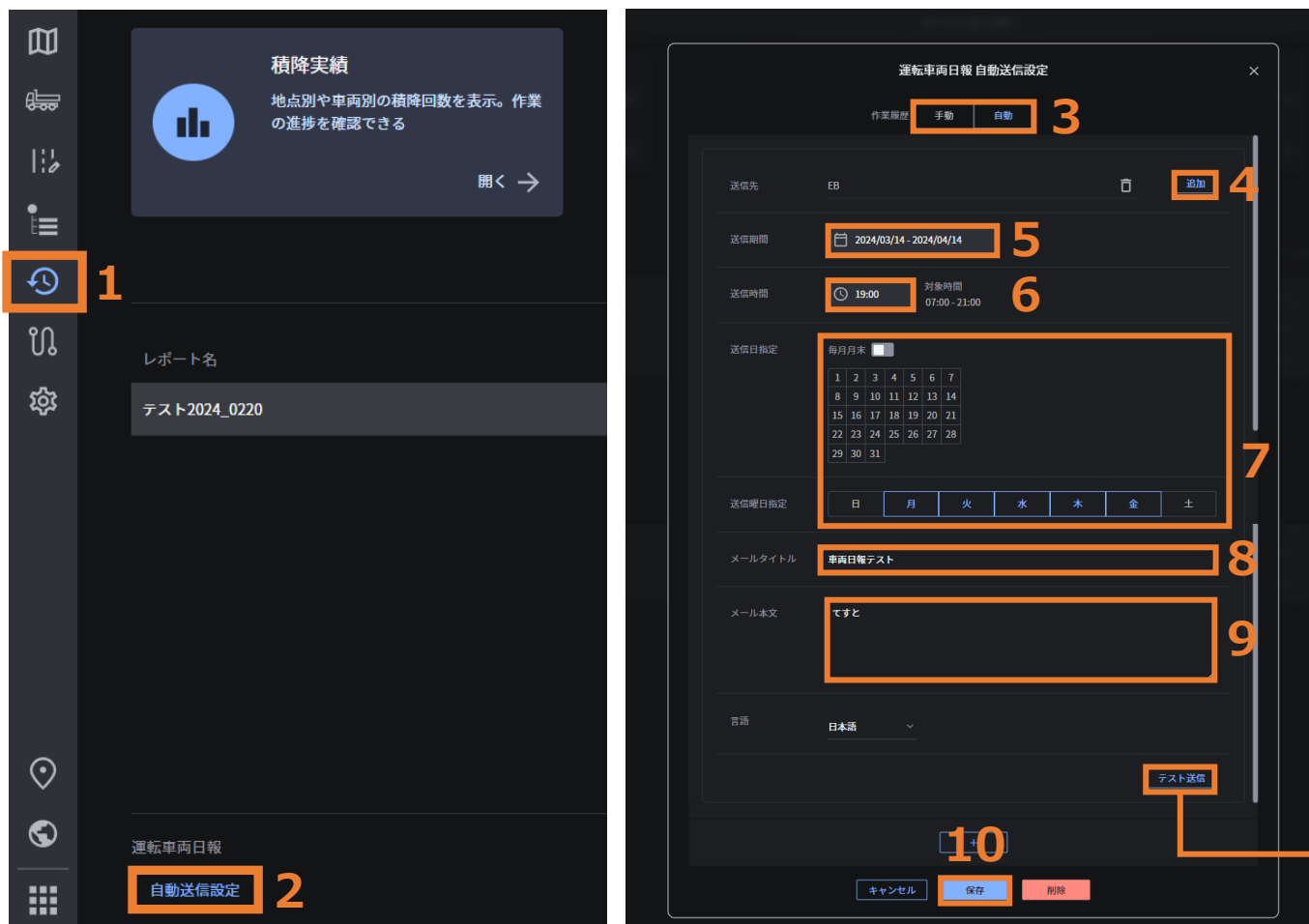


※「運転車両日報」に反映されます。



クラシック版において「除雪モード」に設定した場合のみ使用可能な機能であったがこの度機能を一般化し、さらに管理画面にて業務区分の編集が可能に

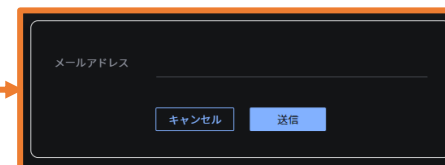
## 【運転車両日報の確認方法】



現場関係者として登録されているアドレスから任意に送信先を選択し、PDFとしてメールに添付して自動送信します。  
急いで確認したい場合、メールタイトルとメール本文のみ入力し「テスト送信」を押すことで内容の確認ができます。

1. 「実績」を押す
2. 「自動送信設定」を押す
3. 集計対象とする作業履歴「手動」「自動」いずれかを選ぶ
4. 送信先を追加
5. 送信期間を選択
6. 送信時刻を選択
7. 送信日もしくは送信曜日を指定
8. メールタイトルを入力
9. メール本文を入力
10. 「保存」を押す

テスト送信が可能



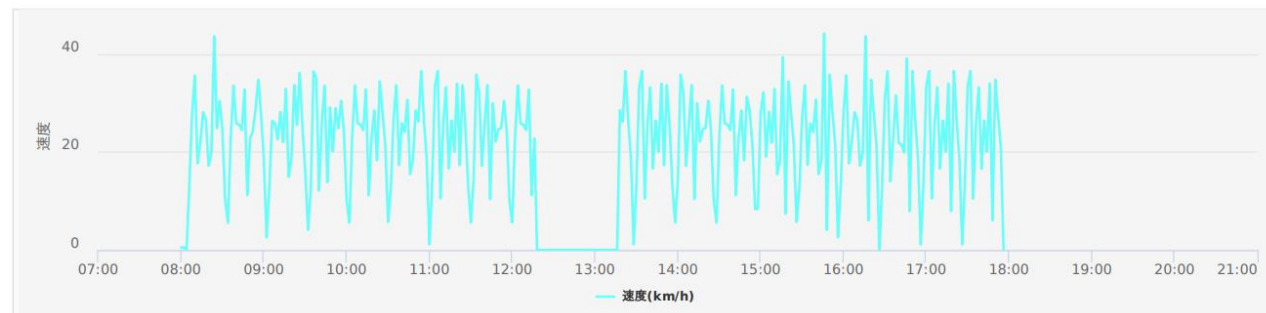


クラシック版において「除雪モード」に設定した場合のみ使用可能な機能であったがこの度機能を一般化し、さらに管理画面にて業務区分の編集が可能に

## 【運転車両日報の仕様説明】

|      |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| 日時   | 2024/03/15 07:00 - 21:00                      |
| 延べ台数 | 18台                                           |
| 運搬量  | 7,150.70m <sup>3</sup> 「運搬」ロールで稼働した全車両の運搬実績合計 |

|     |     |
|-----|-----|
| 車両名 | 不知火 |
| 種類  | ダンプ |



|       |          |
|-------|----------|
| 総走行距離 | 209.77km |
|-------|----------|



業務区分の利用がONになっている場合は業務区分別の走行距離が表示される

モバイルアプリにて、ドライブレコーダー機能を使用して撮影した画像を、コマ送りの映像ファイルとして出力できます。

### 【ドライブレコーダー機能の設定手順】

「設定」画面より「ドライブレコーダー」をタップし、ONにします。

！ 初期状態ではOFFになっています。

ドライブレコーダーがONの時は、画面に「●REC」が表示されます。

「地点内のみ撮影」をONにすることで、積込地点または荷降地点内にいる時のみ撮影されます。

撮影間隔を15秒・30秒・60秒から選択できます。

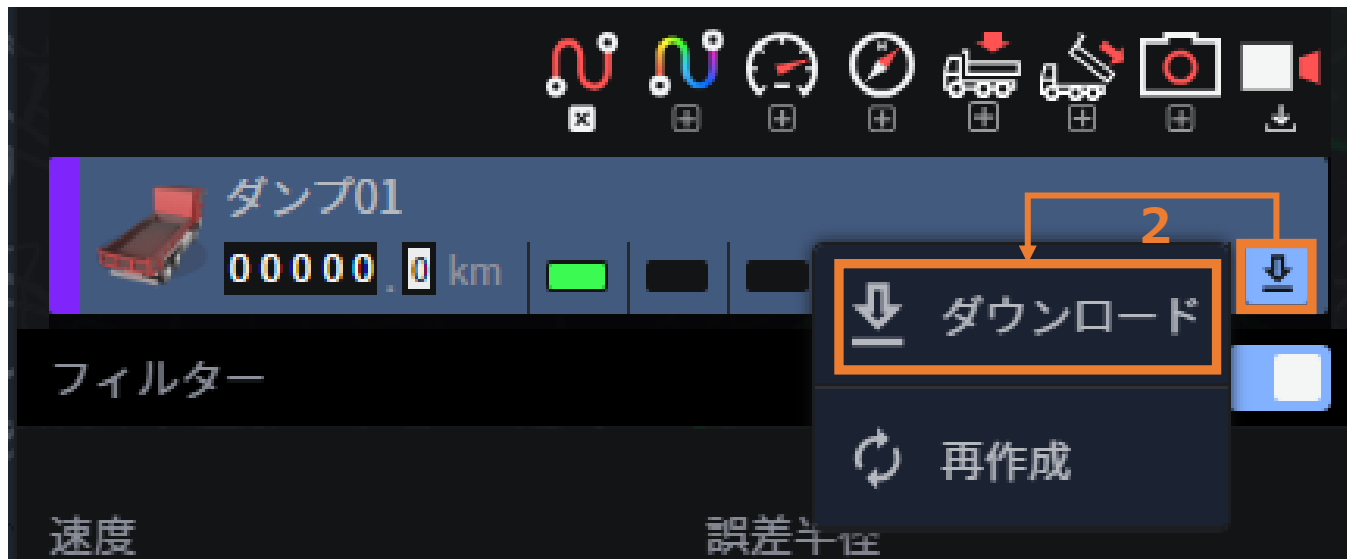
画質を「標準」「高画質」から選択できます。

カメラの状態をプレビューして確認できます。

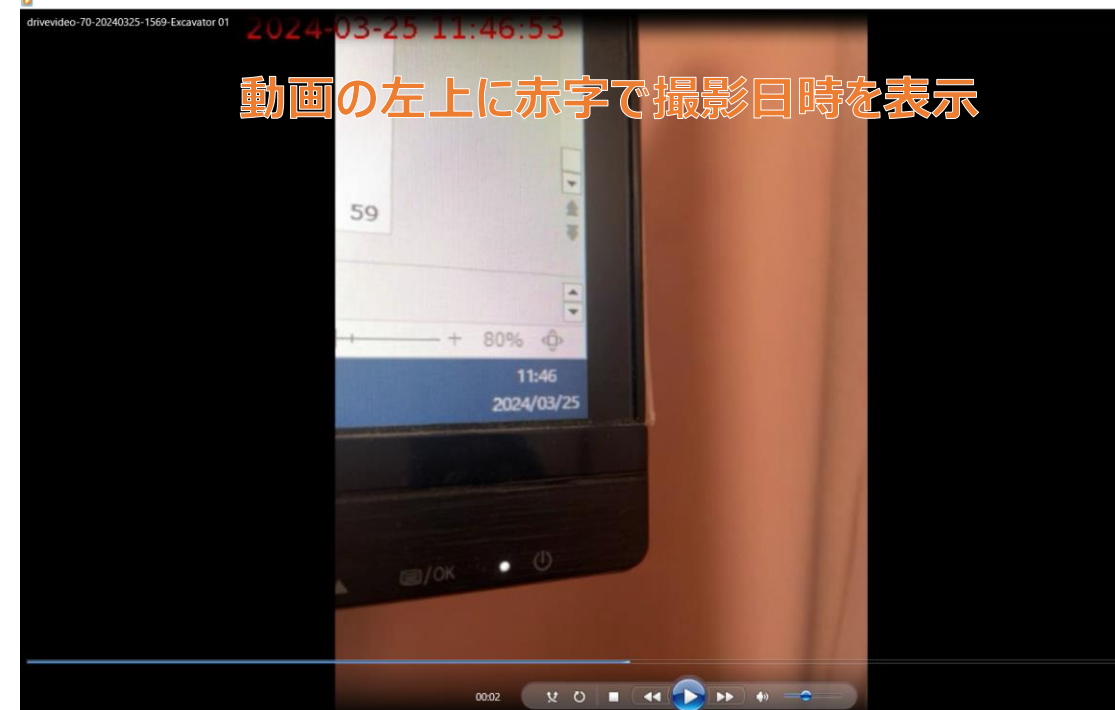
！ 撮影間隔を短くするとデータ通信量・バッテリー消費量が共に増加します。画質を「高画質」にすると、データ通信量が増加します。

モバイルアプリにて、ドライブレコーダー機能を使用して撮影した画像を、コマ送りの映像ファイルとして出力できます。

### 【走行履歴からの映像ファイル出力方法】



1. 走行履歴の車両リストで映像ファイル作成を実施  
作成中は アイコンに変化
2. 作成完了後、ダウンロードを押すことで  
映像ファイルとして出力



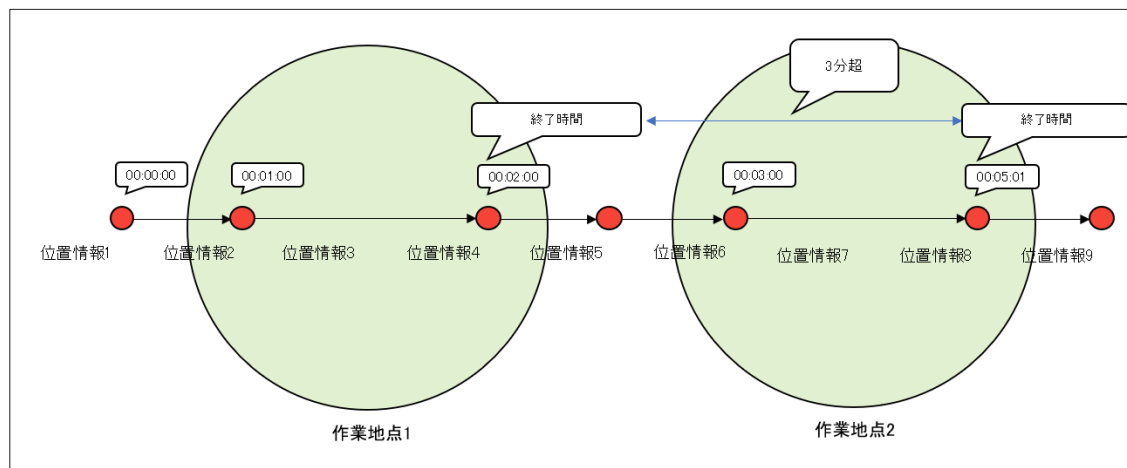


自動作業履歴の重複を避けるための機能です。  
作業履歴が登録された後、設定したクールダウンタイムの間は  
新たな作業履歴が登録されなくなります。

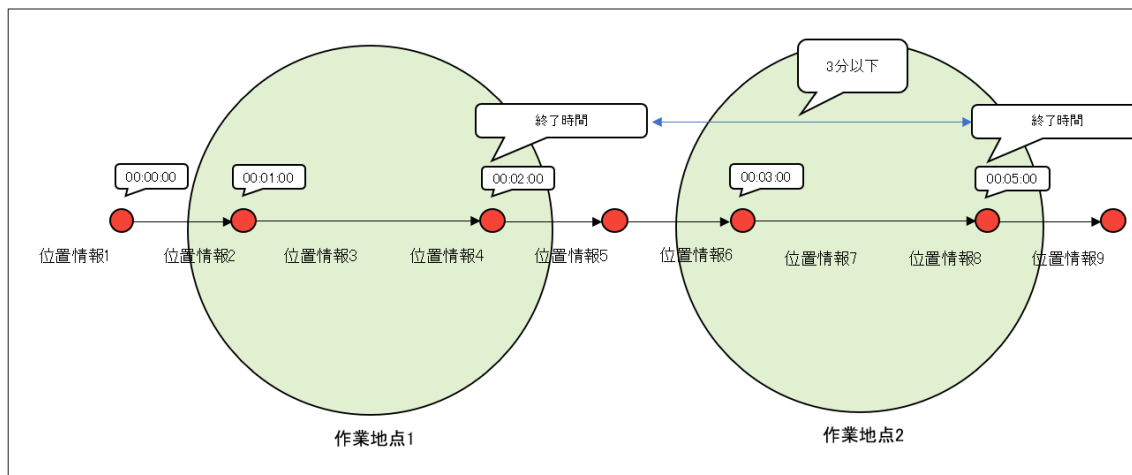
1. 「各種設定」を押す
2. 「現場編集」を押す
3. 「詳細設定」を押す
4. 「自動作業履歴クールダウン」をONにする  
初期状態はOFFとなっています
5. クールダウンする時間を設定する  
処理ロジックは下図の通りです
6. 画面右上の「変更を保存」を押す

●クールダウンを3分に設定している場合の処理

登録するパターン



登録しないパターン

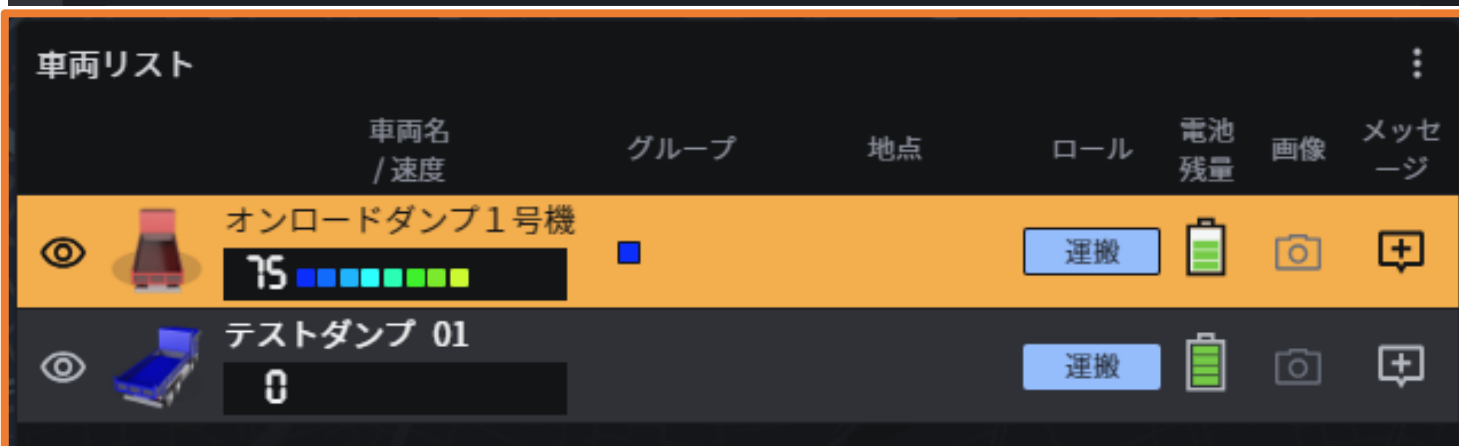




制限速度を超過した車両があった場合に管理者が即座に気付くことができる機能です。

※表示更新毎にその時点の速度で判断します

1. 「各種設定」を押す
2. 「速度超過アラート」をONにする  
初期状態はOFFとなっています  
この機能をONにすると、速度超過があった際にモバイルアプリ側でも警告されます
3. 制限速度を入力する
4. 「変更を保存」を押す
5. 稼働中、速度超過車両があった場合にリアルタイムビューアにて当該車両の行がハイライトされる



5

以上